

令和5年度
事業計画及び収支予算書

一般財団法人伊勢湾海洋スポーツセンター

令和5年度事業計画書

1. 管理事業

(1) 事業運営

項目	概要
財団の運営管理	令和4年3月に策定した経営計画に沿って、津ヨットハーバーの管理運営等を実施することで安定的な収益を確保し、健全な財団運営を実施する。
定年の見直し	令和14年までに段階的に職員の定年を65歳まで延長する。(役職は60歳まで) また、60歳を超えて退職し、引き続き雇用を希望する職員については、嘱託職員として70歳まで雇用する。
未収金への対応	長期未収金の回収状況により、顧問弁護士の指導のもと法的処置を講じるとともに当該契約の見直し等を実施し、未収金の健全化を図る。

(2) 職員の資質向上

項目	概要
公的資格取得	業務に係る公的資格の取得を促進し、各職員の業務範囲を広げる。また、資格等が必要な特殊業務については、その取得に向けた知識及び技術の習熟を図る。

2. 振興事業

(1) 公共的団体等への支援及びサポート事業

項目	概要
艇保管料等に対する支援	組織維持及び選手強化等の財源確保が困難な団体に対し、艇保管料等の減額及び免除を実施する。 減免対象団体：津工業高等学校、三重県セーリング連盟、三重大学、津海洋少年団、セイラビリティ津、日本レーザークラス協会
セーリング技術支援	引き続きハーバースタッフを嘱託職員として雇用し、セーリング技術支援及び艇整備支援を実施する。
各団体への支援	各団体が主催するセーリング競技大会等の受付及び運営、練習の見学などの要望に対し、積極的な支援を行う。
他団体との連携	三重県セーリング連盟に加盟するとともに、連盟理事に職員1名が就任し、選手強化等に対しても関与する。また、三重県海事広報協会等が実施する事業において、津ヨットハーバーを利用したヨット・モーターボートの体験乗船等を提案し、海事思想の普及に努める。
伊勢湾海洋スポーツセンターヨットクラブへの関与	セーリング経験のあるクラブ員が増えてきたので、新たなフェーズとして艇保有に向けた活動も実施する。また、引き続きヨット教室等でクラブへの入会を勧め、より多くの方が海洋スポーツに興味を示す環境を整える。

(2) 教室事業

項目	概要	実施期間回数	目標	受講料/人
ディンギーヨット教室 (1日コース)	ディンギーヨットは継続した練習が必要な乗り物であるが、当面は1日コースの教室を実施する。	5月、7月 年2回	8名	7,000円
クルーザーヨット教室 (1日コース)	多様な楽しみ方ができるクルーザーヨットの特性を生かし、受講者のニーズに沿った教室を実施する。	通年 年4回	12名	7,000円
クルージング教室 (1泊2日)	教室実施艇以外の僚艇(既存艇)とともに離島等に出かけ、クルージングの醍醐味を味える教室を実施する。	8月	3名	10,000円

(3) 体験事業

項目	概要	実施期間回数	目標	参加料/人
乗船体験	クルーザーヨットやモーターボートを自ら操縦する楽しさを味わえるものとする。また、艇の所有を検討されている方には要望に沿った体験内容で実施する。	通年 随時実施	クルーザーヨット 20名	1,000円 小学生以下 700円 団体等の割引有
			モーターボート 60名	

(4) イベント事業

項目	概要	実施期間(目標)	参加料
伊勢湾オープンヨットレース大会	初心者から上級者までヨット愛好者を一堂に集めた大会を開催する。他県の選手や他のマリーナからの参加者も受け入れ、ヨットの普及につなげる。	9月3日 予定 (58艇) (172名)	実行委員会 により決定
ワンデザインヨットレース	近隣マリーナにも参加を呼びかけ、同一艇種によるヨットレースを開催する。	10月 (6艇)	無料
釣りランキング	月間ランキング形式で釣果を発表し年間を通じて実施する。四季おりおりの釣果を競い合い利用者間の交流及び海洋レジャーの発展を図る。	通年実施	無料

(5) 安全に関する啓蒙活動

項 目	概 要
BAN（会員救助システム）の推奨	利用者に対し（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会が設立したBAN（会員救助システム）への入会を推奨し、出港者の安全をサポートする。
海上安全講習会の実施	（公社）中部小型船安全協会と協力し、四日市海上保安部、消防署員を講師に迎えて海難防止及び普通救命講習等を実施する。
大規模災害（地震）への対策	東海、東南海、南海地震等の大規模災害発生時に備え、地震対応マニュアル及び津波対応マニュアルを最新のものに更新し、震災（津波）を想定した対応策の共有を図る。

3. 収益事業

(1) 主な収益目標

項 目	令和4年度末 （目 標）A	令和4年度末 （見 込）B	令和5年度末 （目 標）C	増 減 C-A	増 減 C-B	
財団ヨット	63 艇	56 艇	56 艇	△7 艇	0 艇	
	4,444,000 円	4,246,220 円	4,439,000 円	△5,000 円	192,780 円	
財団ボート	17 艇	16 艇	16 艇	△1 艇	0 艇	
	4,167,000 円	4,113,066 円	4,093,000 円	△74,000 円	△20,066 円	
占用ヨット	88 艇	80 艇	80 艇	△8 艇	0 艇	
	24,589,000 円	23,366,960 円	23,223,000 円	△1,366,000 円	△143,960 円	
占用ボート	33 艇	29 艇	29 艇	△4 艇	0 艇	
	10,898,000 円	10,325,769 円	10,166,000 円	△732,000 円	△159,769 円	
棧橋 使用	海上	46 艇	48 艇	53 艇	7 艇	5 艇
	保管	17,204,000 円	17,521,870 円	19,024,000 円	1,820,000 円	1,502,130 円
	その他	3,019,000 円	3,619,690 円	3,908,000 円	889,000 円	288,310 円
艇置場小計	247 艇	229 艇	234 艇	△13 艇	5 艇	
	64,321,000 円	63,193,575 円	64,853,000 円	532,000 円	1,659,425 円	
小型船舶 免許証取得講習	37 名	33 名	39 名	2 名	6 名	
	2,400,000 円	2,008,400 円	2,842,000 円	442,000 円	833,600 円	
小型船舶 免許証更新講習	330 名	306 名	350 名	20 名	44 名	
	3,930,000 円	3,476,000 円	4,150,000 円	220,000 円	674,000 円	

(2) 小型船舶免許証関係講習

項 目	概 要	講 習 料
免許証取得講習	2級（5海里以内）ボート免許講習（学科、実技）	85,600 円
	1級ボート免許講習（学科、実技）	121,200 円
	1級ステップアップ講習（学科のみ）	35,600 円
免許証更新講習	小型船舶操縦免許証更新講習	12,000 円
	小型船舶操縦免許証失効再交付講習	22,000 円

(3) 目標達成施策

項 目	概 要
中古艇の斡旋	新規ボート免許取得者及び体験、教室事業参加者に対し、中古（譲渡希望）艇情報等を紹介し、新たな顧客の獲得につなげる。
栈橋使用関係	海上保管お試し使用キャンペーン及び冬季栈橋使用促進キャンペーンを実施し、新規栈橋使用艇を確保する。
小型船舶免許証関係	小型船舶免許証取得講習及び更新講習の受講者獲得に向けたPRポスターを製作し、釣具店等の海に関係する店舗へ掲示を依頼する。また、各店舗からの紹介（受付）については、人数に応じて手数料を支払うなどの施策を実施し、受付窓口の拡大を図る。

(4) 津ヨットハーバーの施設維持

項 目	概 要
津ヨットハーバーの施設管理	保管艇数に合わせた適正な場所での艇保管等を実施し、必要に応じて使用許可施設の修繕工事等を三重県に要請する。
施設の環境美化	艇置場及びスロープ等施設の環境美化に努め、利用者へのサービス向上を図る。